

2023年度（令和5年度）
日産キャラバン
車中泊体験の実証実験に関する取り組みレポート



日産自動車 株式会社
2024年3月28日

目次

はじめに

日産キャラバンについて

当取り組みのタイムライン



P.4
当取り組みの目的と経緯

P.6
日産キャラバンについて

P.8
当取り組みのタイムライン

P.10-17
北海道 上川町

取り組み・モニターツアー概要、
工夫したポイント、応募内容、実施の様子、
参加者・担当者の声などをレポート

P.19-28
Clan PEONY 津軽

取り組み・モニターツアー概要、
工夫したポイント、応募内容、実施の様子、
参加者・担当者の声などをレポート

全体総括

補足レポート

各種資料URL

問い合わせ先

P.30
更なる展開を踏まえた三者のFINDINGS

P.31
取り組みを終えて

P.33
「取り組み発表」や「協定締結式」で
工夫されているポイント

P.35
当取り組みに関する「プレスリリース」
や「告知応募ページ」

P.38
各社問い合わせ先

はじめに

当取り組みの目的と経緯

日産キャラバンを活用し 「車中泊市場」と「地域活性化」 のさらなる広がりをめざす

2022年（令和4年）3月25日、日産自動車株式会社と茨城県高萩市は、
「車中泊体験の実証実験に関する協定」を締結し、実証実験を実施しました。

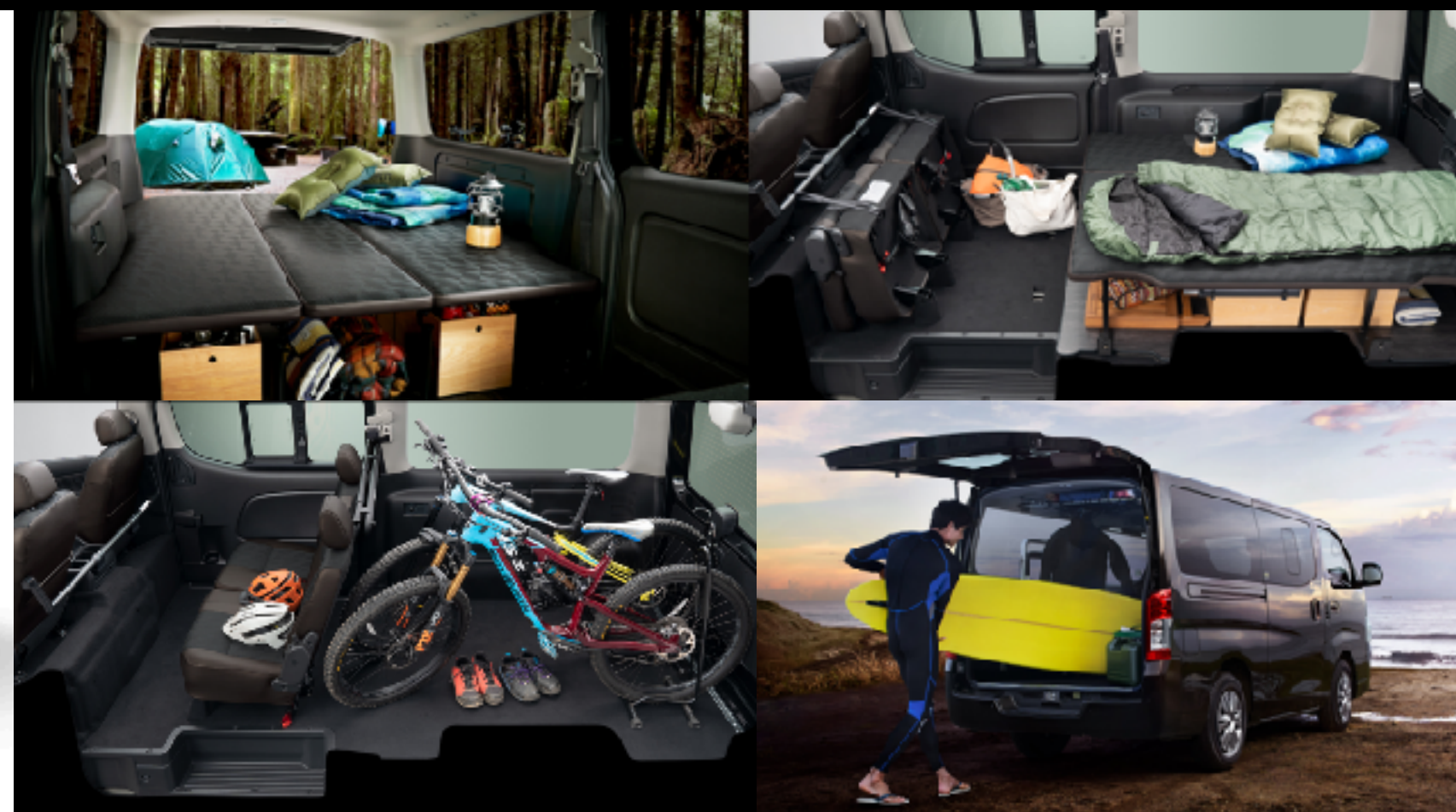
それをきっかけに全国各地の自治体・DMO^{*}よりお声がけをいただき、
2023年度（令和5年度）は、北海道上川町とClan PEONY 津軽（青森県：地域連携DMO）
の2つの地域との取り組みを実施させていただくことができました。

ここに当取り組みのご報告をするとともに、みなさまの参考にしていただきたく思っております。

日産キャラバンについて

日産キャラバンについて

「車中泊・キャンプ」などに便利な純正のマルチベッドを装備し好評を得ている



2021年度ビックマイナーチェンジを経て、乗用車同等の装備を追加
ミニバンやSUVなどの乗用車からのアップサイズを求める買い替えニーズに対応







これまで、職人などのプロの方にご好評だった「ラゲッジユーティリティナット」機能を活かし
車中泊やキャンプなどで便利な純正の「マルチベッド」のグレードも用意され、好評を得ている



「遊びの相棒」としてキャラバンの魅力発信を行い、ユーザーを増やしている

当取り組みのタイムライン

当取り組みのタイムライン

2023年	3月	4月	5月	6月	7月
<p>取り組み①</p>  <p>北海道上川町</p>	<p>3月9日</p> <p>モニターツアー 取り組み共同発表</p>  <p>*協定締結はナシ</p>	<p>3月9日～4月21日</p> <p>募集期間</p>	<p>5月12日～5月22日</p> <p>実施期間</p> <p>冬季～夏季の繁忙期の間</p> 		
<p>取り組み②</p>  <p>Clan PEONY 津軽 (青森県：地域連携DMO)</p>	<p>3月20日</p> <p>協定締結式 実証実験共同発表</p> 	<p>3月20日～4月27日</p> <p>募集期間</p>	<p>6月2日～7月2日</p> <p>実施期間</p> <p>大規模イベントの少ない時期</p> 		

2022年度「茨城県高萩市」との取り組みは下記URL参照のこと：

https://www2.nissan.co.jp/SP/CARAVAN/CARAVANISTBASE/ASSETS/IMAGE/ADVANTURE/POCAPPLY/REPORT/NISSANCARAVAN_TAKAHAGI_POC_REPORT_220624.pdf

取り組み①

北海道 上川町



取り組み概要

「**通年型山岳リゾートタウンの実現**」を地域づくりのスローガンにあげ、
さまざまなアウトドアツーリズムの推進に注力する中

当取り組みの背景

今まで

「日本一オープンイノベーションなまち」を目指し、**多くの企業と連携した地域課題解決**を実施。アウトドア企業や旅行会社との連携協定を結び、店舗開発や**アウトドアツーリズム推進**などに注力。

市場環境の変化で3つの対応が必要に。

今回

宿泊ニーズ
多様化への対応

移動/2次交通
への対応

アウトドア
需要への対応

→ **日産キャラバンとタッグを組んで課題解決へ!**

今後目指すこと

「通年型山岳リゾートタウンの実現」

例) 車中泊可のアウトドアフィールド整備

例) アウトドアコンテンツとの融合 など

当取り組みをきっかけに、
“多付加価値観光”への取り組みを推進!

※資料抜粋：2023年3月9日 モニターツアー取り組み共同発表会（上川町）

日産キャラバンを「**宿泊スタイルの多様化**」「**主要エリア・駅からの2次交通対応**」
「**アウトドアアクティビティスポットとの連携**」などに活用すべくタッグを組む

モニターツアー概要

一般参加者向けのモニターツアー（4組）を告知・募集

ツアー概要



<北海道上川町×日産キャラバン>



アウトドアアクティビティと一流レストランの美食が堪能できる車中泊体験
～手ぶらで楽しめる“大自然 & チルアウト” ツアープラン～

- 実施期間** 2023年5月12日（金）から5月22日（月）の間で下記組み合わせにて実施 ※いずれも1泊2日
アクティブツアー：① 5月12日（金）～13（土）、② 5月19日（金）～20日（土）
チルアウトツアー：③ 5月14日（日）～15日（月）、④ 5月21日（日）～22日（月）
- 実施場所** 上川町内へ各自現地集合し車中泊車貸し出し/大雪高原旭ヶ丘特設会場ほか町内各所 ※当選者に詳細連絡
- 募集人数** 4組想定（1組最大2名） ※小学生以下が同伴の場合、追加1名まで可。ペット同伴不可。
- 募集期間** 2023年3月9日（木）～2023年4月21日（金）<予定>
- 応募方法** 専用HPの応募フォームより希望日程（アクティブorチルアウトいずれか）を選択 ※応募者多数の場合は抽選
- 参加費用** アクティブツアー：税込30,000円/組 / チルアウトツアー：税込15,000円/組
※アクティビティやお食事などにかかる実費として。プログラム表記部分は費用に全て含まれます。



2023年3月9日から応募開始

※資料抜粋：2023年3月9日 モニターツアー取り組み共同発表会（上川町）

モニターツアーで工夫した「2つのポイント」

ポイント①

「アクティブ」と「チルアウト」
2種のツアーを設定

ポイント②

希少な「アクティビティ」
や人気の「美食」体験を用意

ツアーのポイント

参加者ニーズに合わせ、2つのプランを準備！

	アクティブ ツアー	チルアウト ツアー
参加者ニーズ	時間いっぱい特別な体験をしたい アクティブなあなたへ	大自然の息吹を感じながら ゆったりと過ごしたいあなたへ
DAY 1	マタギ体験 上川町指定自然保護区内でのマタギによる 狩猟体験。さらには秋田などへの旅行体験 車中泊特別ジビエディナー体験 「フラテッロ・ディ・ミクニ」グランシェフ高木氏 による一流料理コースを5席で体験	フリー 車中泊特別ジビエディナー体験 「フラテッロ・ディ・ミクニ」グランシェフ高木氏 による一流料理コースを5席で体験
会場	大雪高原旭ヶ丘特設会場にて【車中泊】	大雪高原旭ヶ丘特設会場にて【車中泊】
DAY 2	きこり体験 短時間で体験する高木氏による、自然の息吹を感じる 森林での木の切り方、様々な木の活用を体験。 ラフティング体験 世界一の川を走り抜く大雪山のリバーガイドで 上川町の清流ラフティング体験	フリー フリー

<両プラン共通>

- ・マルチベッド仕様の日産キャラバン貸出
- ・車中泊に関するツール一式貸出
- ・フラテッロ・ディ・ミクニでの夕食
- ・上川町のお土産セット

<アクティブ> アクティビティ体験付き！

<チルアウト> 食事以外は自由行動！

※車中泊は、大雪高原旭ヶ丘車中泊体験特設会場予定
※通常は開放していないエリアを特別に開放、
一般では車中泊に利用不可、町内の他場所は可能。



※資料抜粋：2023年3月9日 モニターツアー取り組み共同発表会（上川町）

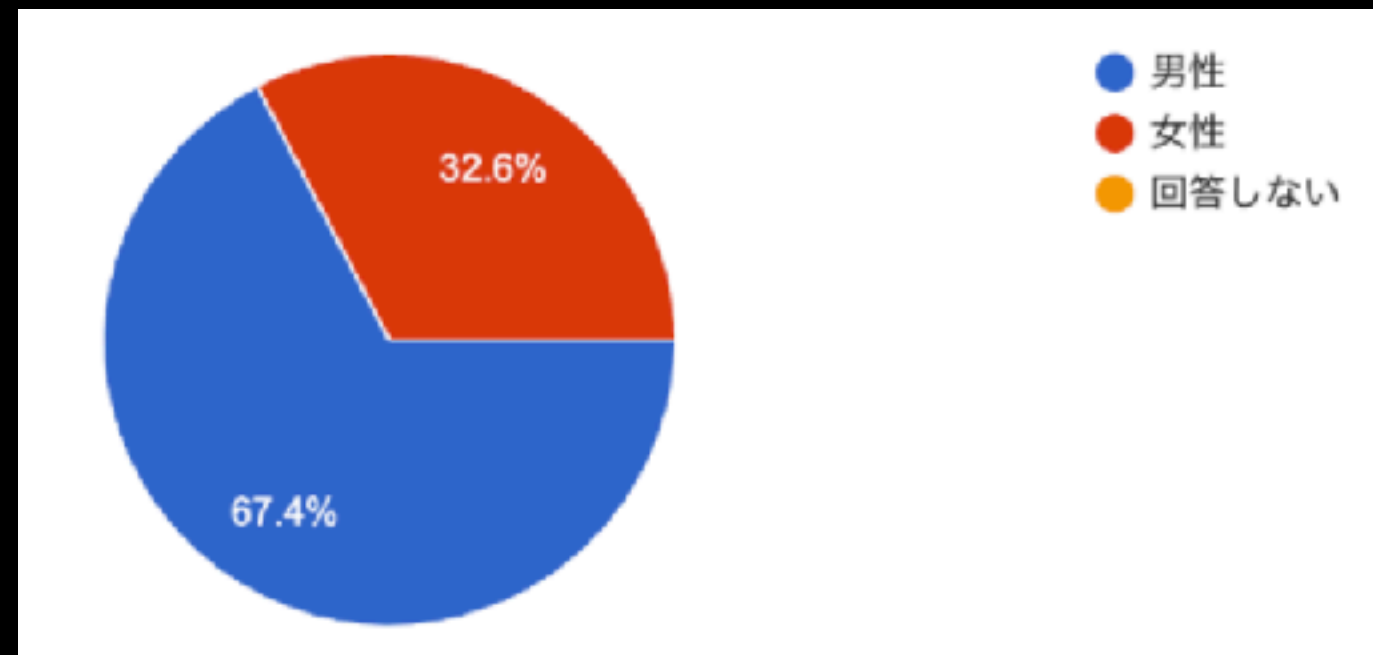
滞在時間を“思う存分に体験をしたい派”
と“何もせずゆったりと過ごしたい派”
の各ニーズに対応

上川町ならではのの方々とともに、大自然を舞台にした
「きこり」「マタギ」「ラフティング」や「ジビエ」
を用いた人気レストランでのディナー体験を織り交ぜる

応募内容（件数・属性）について

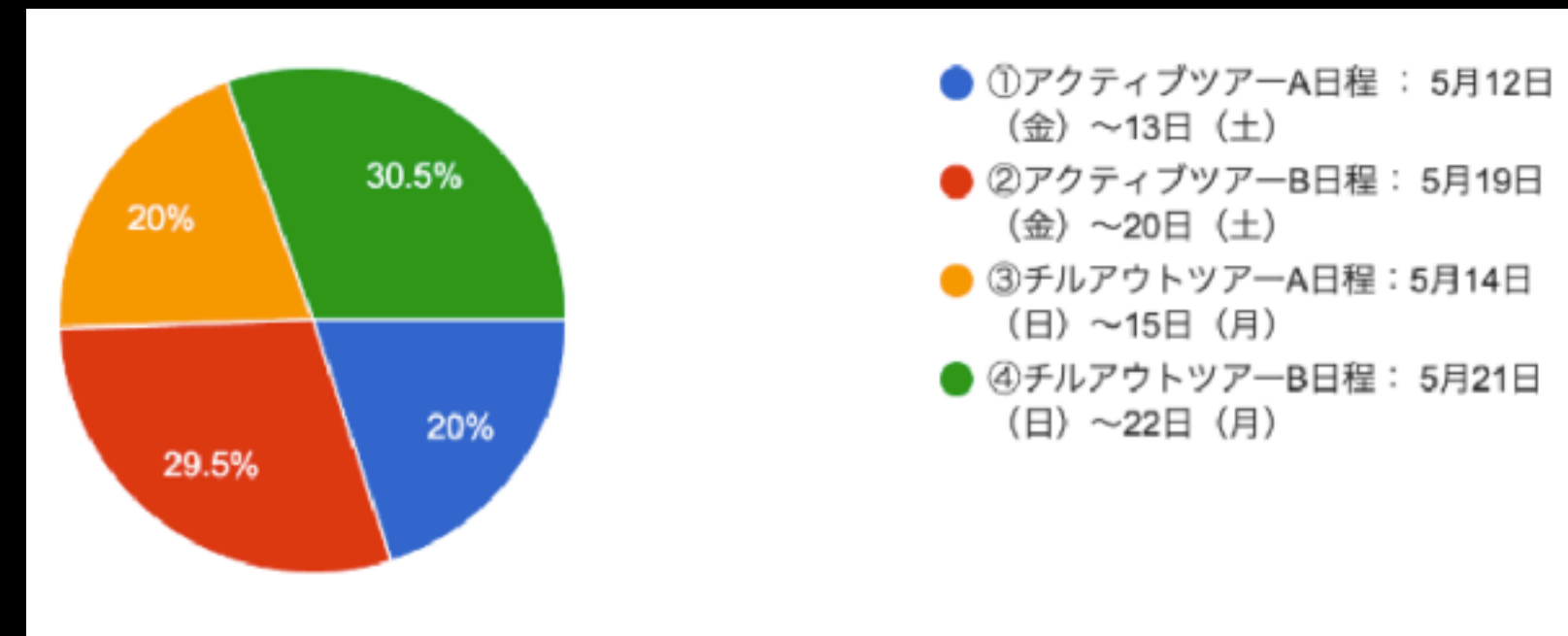
応募数「95件」うち女性「3割」からの応募 / 夫婦参加希望「6割」

<応募者性別>



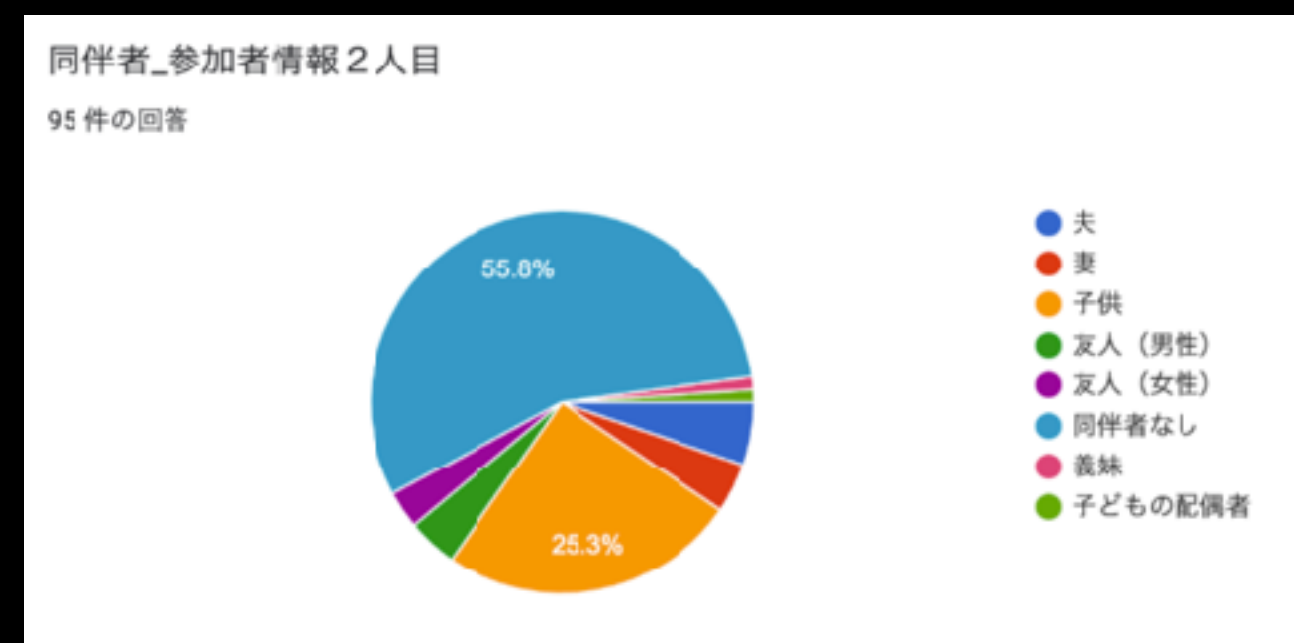
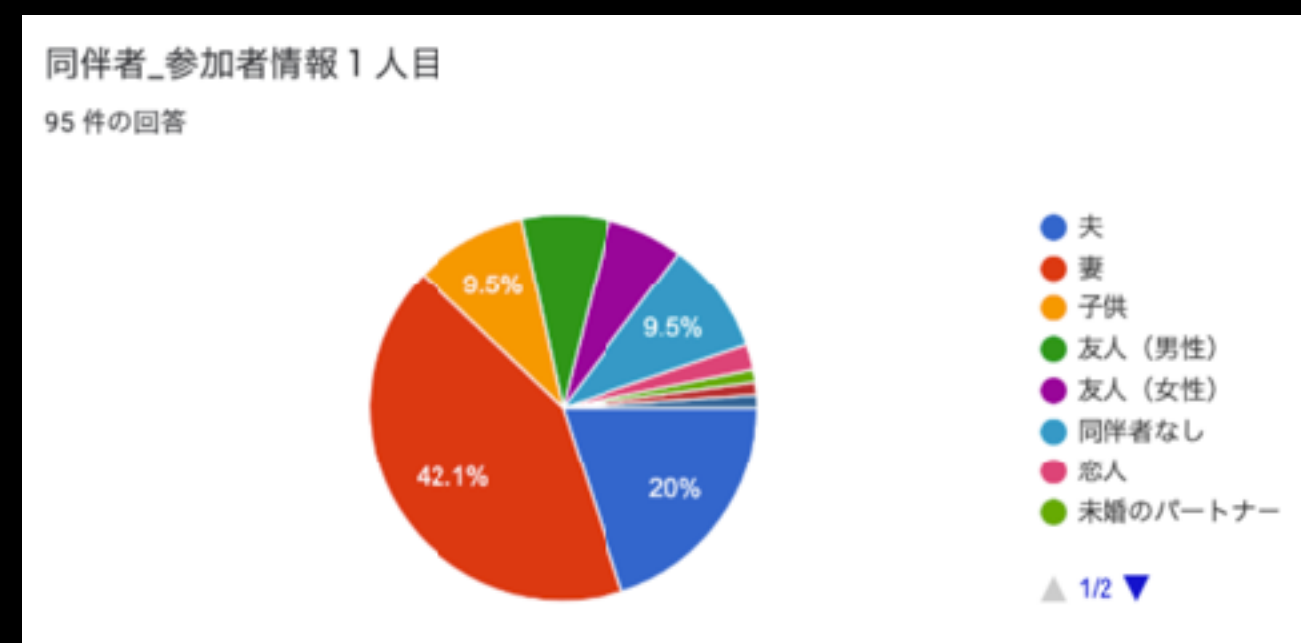
応募代表者性別は「男性 7割 女性 3割」
想定よりも女性からの応募が多く、
興味関心が高いことがうかがえた

<選択ツアー内訳>



アクティブ・チルアウトツアー半々の応募
チルアウトニーズの発見があった

<同伴者>

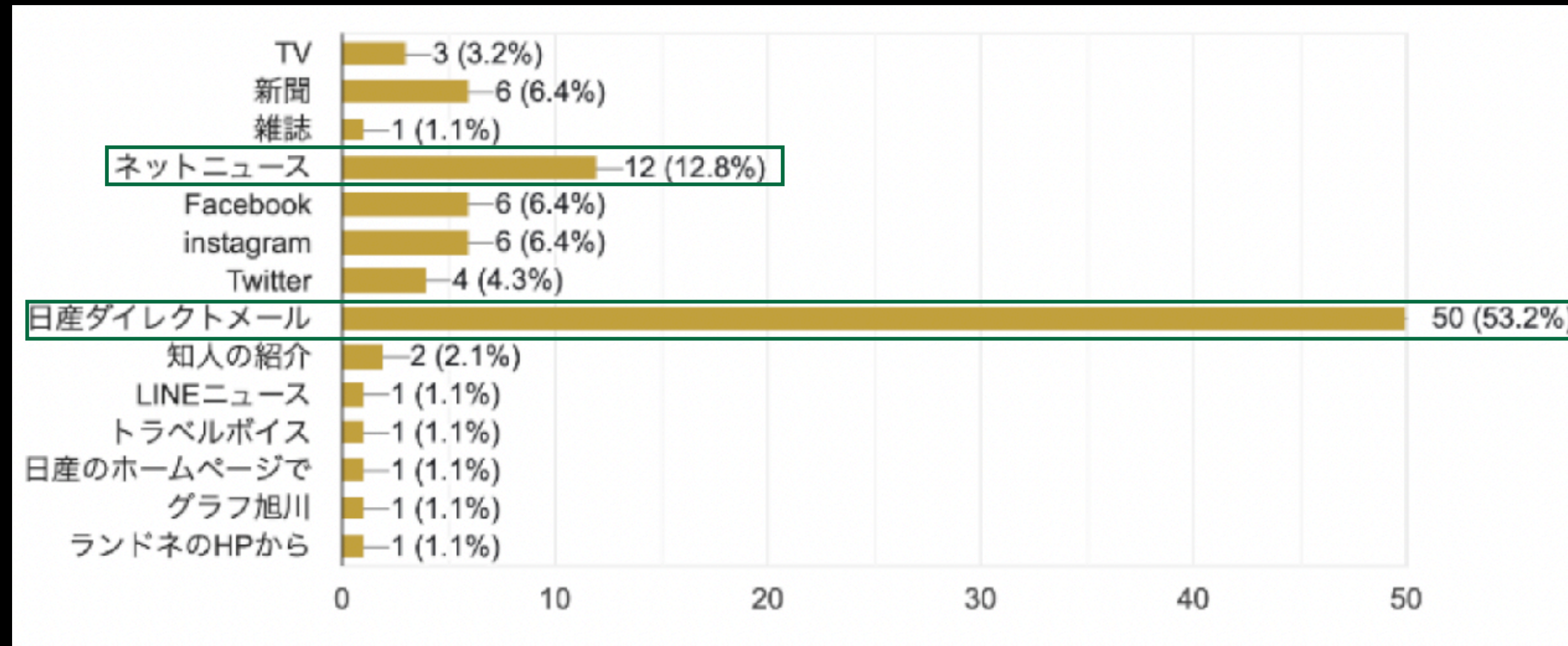


「夫婦」での参加希望が「6割」を超える

応募内容（きっかけ）について

日産自動車発信のメールマガジンが「5割」を超える

<モニターツアーを知ったきっかけ>



「日産ダイレクトメール」および「ネットニュース」を加えた「6割」が当モニターツアーを知ったきっかけとなっており、
共同での取り組みの意義があると認識

（「ネットニュース」は日産自動車および上川町の各リリース配信により取り上げられた）

実施の様子

沖縄県より「アクティブ」ツアーに参加された方々



※参加者の使用許諾を得て掲載

北海道や首都圏から
ご夫婦・親子で参加



アクティブ



チルアウト



チルアウト

※参加者の使用許諾を得て掲載

上川町ならではの大自然でのアクティビティのみならず、地元の方のおもてなしや住民との交流が好評だった

参加者：アンケートコメント

ツアーエリア・日産キャラバンともに「サイズ感」が高評価
日常にはない、上川町ならではの自然・アクティビティ・料理が絶賛された

ポジティブ

ネガティブ

ツアー内容について

- ・自然に触れ、野生動物が見られた。
- ・様々なスポットがコンパクトにまとまっていた。
- ・日常では味わえない体験ができた。クマ2回遭遇！
- ・今回のツアーならではの料理！最高！
- ・大自然の中で、リフレッシュできた！

- ・（車中泊スポットの）トイレが遠かった。
- ・子供には食べられない料理があった。
- ・事前に車中泊アイテムを教えて欲しかった。
- ・季節ごとのイベントや見どころ情報が欲しかった。

日産キャラバンについて

- ・楽に運転できたので、観光に適していた。
- ・室内が広く、荷物が積める。
- ・子供が日常ではない車中泊を楽しんでいた。
- ・移動にも車中泊にもちょうどよいサイズ感だった。

- ・車中泊なら大人2名ベストかな。
- ・運転席の乗り降りが慣れるのに時間がかかった。
- ・クルマの機能を詳しく知りたかった。

※参加者アンケートを集計（上川町データ提供）

（車中泊スポットの）トイレは「近くて綺麗」が必須、さらに子供を意識したケアも必要

北海道上川町：担当者の声

自治体が求める「関係人口」を“車中泊”切り口で開拓、新たな町の魅力造成につながった



上川町 東京事務所

プロデューサー
小口 潤

最も大きな成果は？

「コトを起こす原動力を獲得」

車中泊のニーズがあることは住民の声からも上がっていたが、集客などの不安から積極的にはなれなかった。今回、大手自動車メーカーである日産自動車と協業する取り組みにすることで、期待値を高め、可能性を信じるきっかけを作ることができた。人が動くことで取り組みが始まるので、今回の協業は非常に価値があった。

「車中泊を軸としたコンテンツの開発」

アウトドアの町として、キャンプ場の整備などは実施してきたが、車中泊の視点はなかった。林業体験・ジビエ食体験など4つのコンテンツを新規開発できたことは今後の自走化の道筋にもなる。

思いもよらなかった発見や反響は？

「日産ファンの獲得」

実証ツアーの応募きっかけは「日産自動車公式メールマガジンやSNS」からが6割を超えた。自治体単体では捕捉できないターゲットの獲得源泉となり、日産ファン・クルマファンが上川町に興味を持っていただくきっかけになった。実際、道内のクルマ旅愛好家からの問い合わせもあった。

「車中泊やアウトドアというブランディングの強化」

町単体での取り組みではメディアバリューも大きくならないが「日産自動車との協業」がフックとなり、全国・道内メディアなど広範な露出につながった。露出先もアウトドアやクルマはもちろん、旅行、おでかけなど観光関連メディアでも取り上げられた。改めて、日産自動車のPR力、メディアリレーション力の強さに気付かされた。

自治体として企業連携に期待するポイントは？

「自走化の道筋づくり」

自治体としては、単発・短期的なイベント的取り組みは継続性の観点から受け入れ難くなる。本格的な事業プラン策定や車両購入検討も試みているが、現段階では具体策は見出せていない。いかに観光コンテンツの一つとして中長期的な取り組みにできるかをぜひ引き続き、相互に考えていきたい。それにより、今回の実証ツアーでも要望の多かった車中泊に必要な「トイレやシャワー」などの施設整備も検討ができることになる。

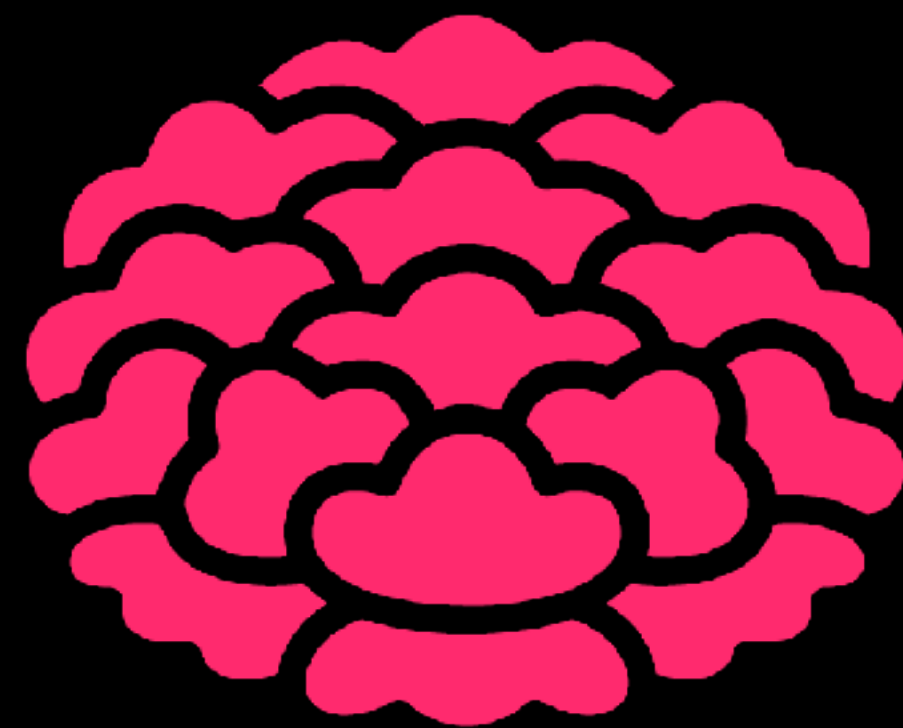
「立ち上げに留まらない、中長期的なサポート・体制づくり」

実証ツアー用車両の無償貸与やPRプロモート・メディア誘致などでサポートをいただいたが、さらに継続性を踏まえると、車中泊+αの「観光コンテンツ開発」や「事業採算計画」など中長期的に事業委託などまでできるサポートや体制などをさらに期待したい。

取り組み②

Clan PEONY 津軽

(青森県：地域連携DMO)



取り組み概要

津軽地域の「つなぎ役」を担うDMOとして
「広域に点在する観光資源」をいかに広範に活用するかが課題

津軽圏域14市町村内に観光資源が点在

“泊まれる”2次交通

同時解決する「Move & Stay」発想

課題① 弘前駅・市街地から観光をするための2次交通不足

課題② 周遊先での宿泊施設の不足

弘前駅発着 & 手ぶら
行きたい時に、行きたい場所へ

来訪先でそのまま車中泊
新たな宿泊施設として過ごす。

津軽圏域14市町村内に観光資源が点在

弘前市を起点に東西南北、自然や名所名跡などが数多く点在。
しかし、そこへ訪れるための課題が顕著にある。

※資料抜粋：2023年3月20日 協定締結式・取り組み共同発表会 (Clan PEONY 津軽)

日産キャラバンで「市街地からの2次交通」と「周遊地の宿泊施設不足」の
「ダブルの課題」を解決すべく「“泊まれる”2次交通」を目指しタッグを組む

モニターツアー概要

一般参加者向けのモニターツアー（18組）を告知・募集

■実施日程

2023年6月2日（金）～ 7月2日（日）

2泊3日コース：5日程 x 2組 = 10組 ① 6/2-4 ② 6/6-8 ③ 6/16-18 ④ 6/20-22 ⑤ 6/30-7/2

1泊2日コース：4日程 x 2組 = 8組 ① 6/10-11 ② 6/13-14 ③ 6/24-25 ④ 6/27-28

■募集人数

18組36名想定 ※小学生以下の場合は追加1名の同伴も可。ペット同伴不可。

■募集期間

2023年3月20日（月）～4月27日（木）

■参加費用

1泊2日 おひとり 20,000円（税込） / 2泊3日 おひとり 30,000円（税込）

■体験内容

6つのツアープランのいずれか。日産キャラバン マルチベッドでの車中泊。

■応募方法

下記サイトの応募フォームにて希望日程/プランを選択 ※応募者多数の場合は抽選。

<https://www.trip-tsugaru.com/nissan-caravan/>



※資料抜粋：2023年3月20日 協定締結式・取り組み共同発表会（Clan PEONY 津軽）

応募・実施期間中に
弘前駅や津軽圏域内に配布・掲出された
ポスタービジュアル

モニターツアーで工夫した「2つのポイント」

ポイント①

ターゲット属性の検証も踏まえ
6種のツアープランを用意

6つのプランをご用意

2泊3日コース

- 小説「津軽」をめぐる
- 津軽の歴史探訪
- 津軽のアートに触れる

1泊2日コース

- 津軽の農業・漁業体験
- 津軽「鬼コ」をめぐる
- 白神山地を堪能する

※資料抜粋：2023年3月20日 協定締結式・取り組み共同発表会 (Clan PEONY 津軽)

歴史、アート、自然、アクティビティなど幅広い
ジャンルのツアープランを制作
また当取り組み初めての「2泊3日（連泊）プラン」も設定

ポイント②

圏域内でのモチベーションアップを目的に
インナープロモーションも実施



「日本の道百選」にも選ばれた「黒石市中町 こみせ通り」での掲出の様子

ツアー参加者や圏域内の観光事業者や地域住民の方へ向け
「のぼり」「ポスター」などの掲出を行う

応募内容（件数・属性）について

応募数「142件」

首都圏・関西圏・中部圏の在住者からの応募が半数を占める
年代別では50代・60代からの応募が半数を超え、次いで40代からの応募が多かった

<応募件数 TOP 5 の都道府県>

ランキング	都道府県	応募件数
1	大阪府・神奈川県	各16
2	千葉県	14
3	東京都	10
4	埼玉県・愛知県	各9
5	青森県・群馬県・兵庫県・広島県・徳島県	各5

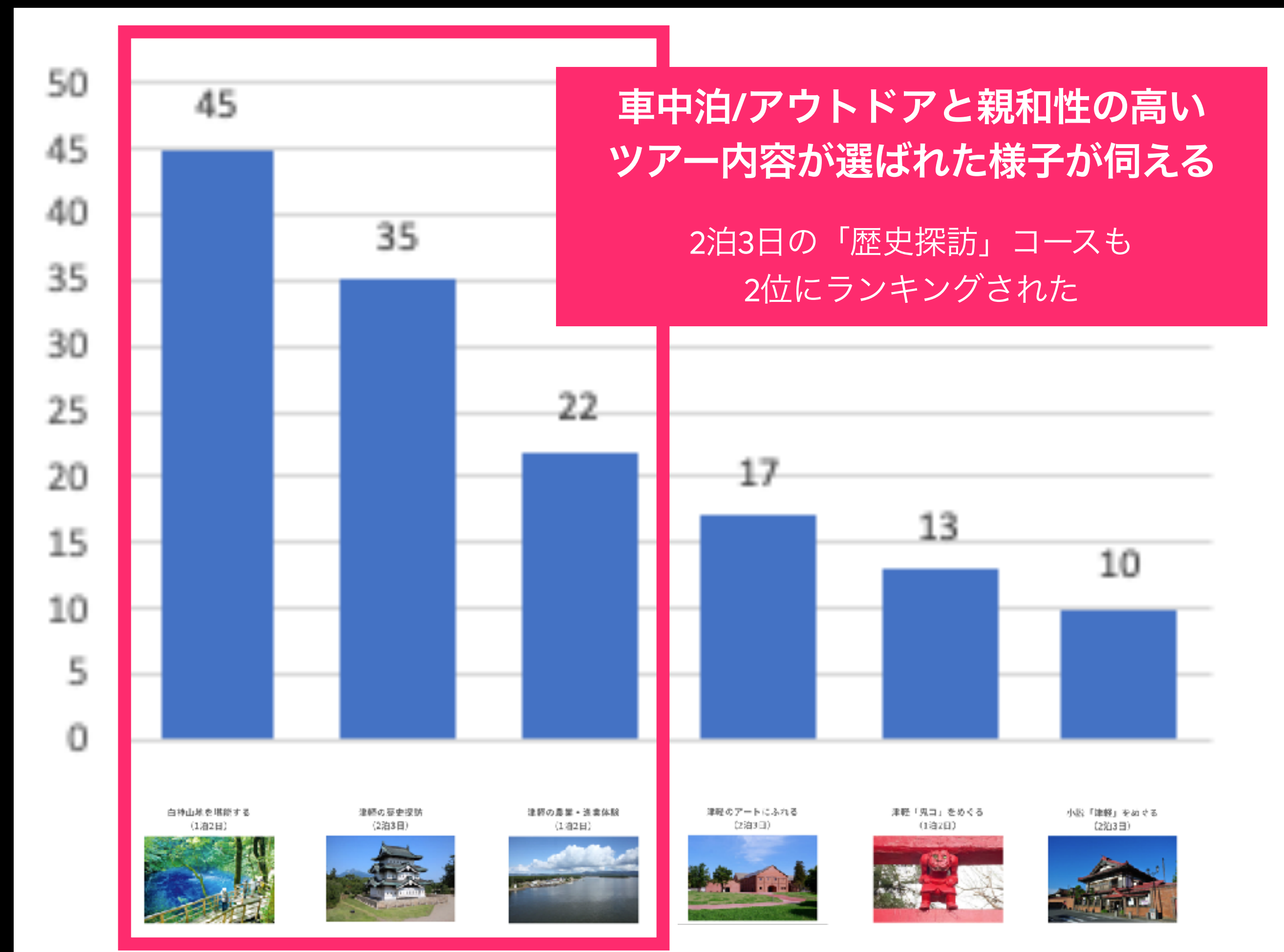
「北海道」は3件の応募

<年代別構成>

年代	割合
50代	38%
60代	23%
40代	12%
70代	11%
30代	9%
20代	4%
80代	2%

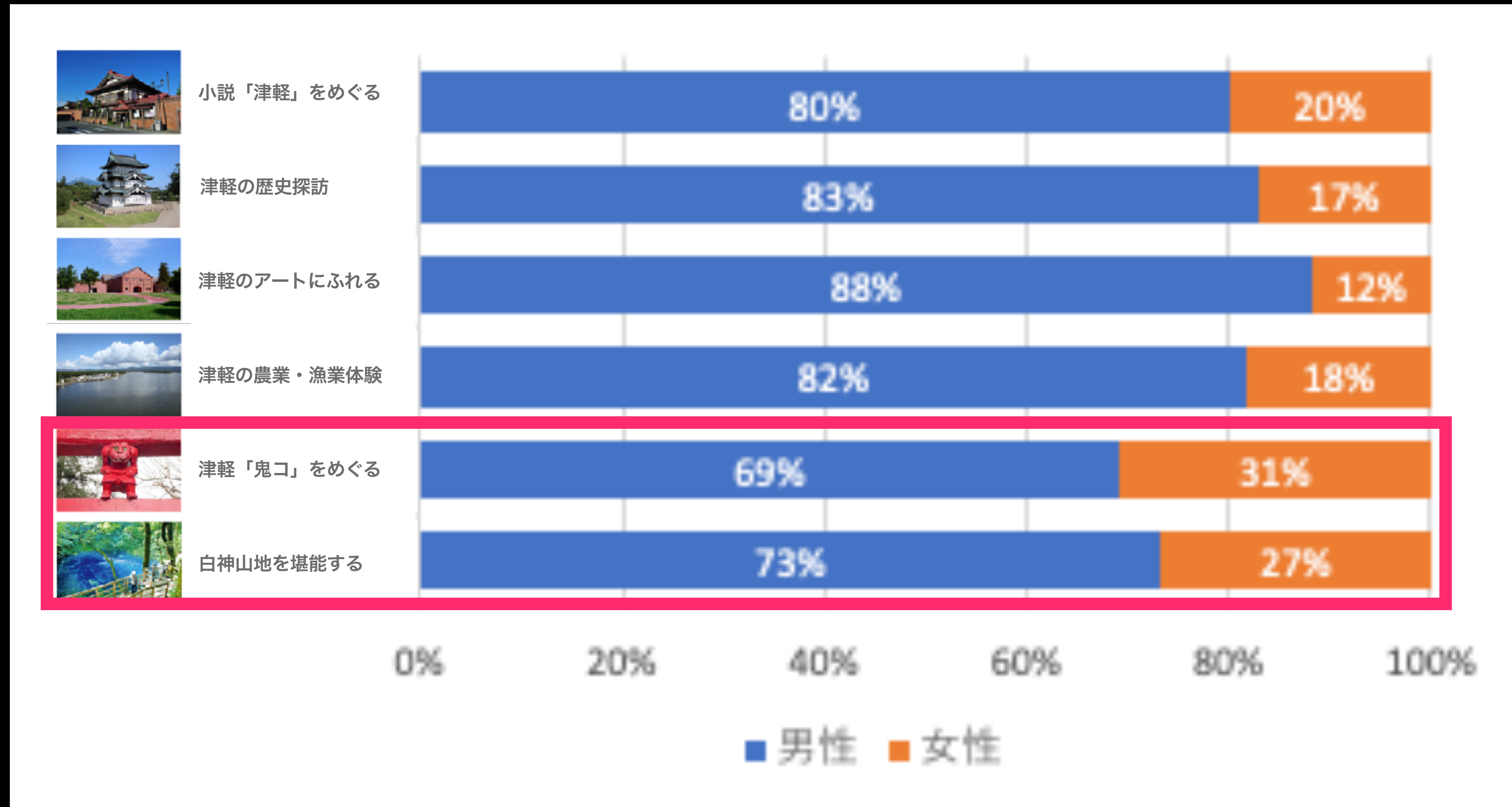
プラン別 ランキングについて

「白神山地堪能」「歴史探訪」「農業・漁業体験」が上位をしめた



プラン別 男女傾向について

女性には「津軽鬼コ巡り」や「白神山地堪能」が人気の様子が見える



実施の様子

最も応募数が多かった「白神山地堪能」コース



※参加者の使用許諾を得て掲載

車中泊ができるクルマによって、白神山地や津軽地域ならではの旅情や絶景がさらに貴重な経験になったと好評価

実施の様子

ご家族連れに参加をいただいた「津軽の農業・漁業体験」コース



※参加者の使用許諾を得て掲載

津軽地域ならではの農業・漁業体験や各地元での食事を通し、地元の風習や商業の成り立ちが学べるツアー内容となった
参加されたお子さまの興味津々な様子が伺えた

「津軽のアートにふれる」コース

黒石市中町 こみせ通りでの「ねぶた絵を再利用した工芸体験」
や「天然生ゴムを使用した"ボッコ靴"の紹介」など町の方から
丁寧にレクチャーを受けながらのツアー内容となった



※参加者の使用許諾を得て掲載

参加者：アンケートコメント

津軽圏域の観光資産を生かした「テーマ別ツアー」設定と市街地から郊外への移動・車中泊に「大きすぎず小さすぎない」キャラバンが高評価

ポジティブ

ネガティブ

ツアー内容について

- ・ ツアーを通して津軽地域の歴史・生活を学べた。
- ・ テーマ（目的）別の旅は腑に落ち意義があった。
- ・ 農業/漁業体験は地元の方に触れられて楽しかった。
- ・ ガイド付のツアー設定がわかりやすかった。
- ・ （黒石市中町 こみせ通りの）町民の団結力が素晴らしい、住みたくなった。

- ・ 早めにツアー行程を知りたかった。
- ・ 地元の方の穴場情報を聞きたかった。
- ・ 悪天候時のバックアッププランが欲しかった。
- ・ 見知らぬ土地でのクルマ移動にあたり、距離感・所要時間や効率的な周遊ルートなどの情報があればよかった。
- ・ 市町村単位ごとではなく、1ヶ所でまとめて情報提供してくれるスポットが欲しかった。

日産キャラバンについて

- ・ ドライビングポジションがよかった。
- ・ テント泊よりも便利な車中泊体験ができた。
- ・ ベッドのクッション性がよく、熟睡できた。

- ・ 市街地での車幅感覚になれるのに時間がかかった。
- ・ クルマの使い方をレクチャーして欲しかった。
- ・ 車内で調理できる器具ももう少し欲しかった。

※参加者アンケートを集計（Clan PEONY 津軽 データ提供）

知らない土地を周遊する方への前もっての情報提供や穴場スポットが求められた
さらに、クルマの使い方のレクチャーがあるとなおよし

「車中泊」が、広域なエリア（青森県の約1/3）をカバーする取り組みを実現してくれた。

最も大きな成果は？

「全国DMOとの差別化ができた」

「車中泊」を新たな観光産業の手段にする発想で、地域課題を解決する観光プラン創出ができた。全国各地のDMOの観光施策事例との差別化をし、個性ある取り組みにできたことが最大の成果だった。

「津軽地域を全国区にするきっかけに」

応募データから発見できたのは「北は北海道、南は鹿児島」の方が興味をもってくださった。津軽地域の魅力を、全国の方に届けられることに改めて気づくことができた。

思いもよらなかった発見や反響は？

「ツアープラン作成で、地域の魅力を再認識できた」

我々DMOのマネジメントエリアは、青森県内の14市町村（青森県の約1/3の面積）と広範囲で各地域の多様な関係者との協力・連携が不可欠。今回、6つのツアープランを作成する過程で、各人が改めて「地域の魅力」と「関係事業者とのネットワーク構築」が重要であることに気付かされた。

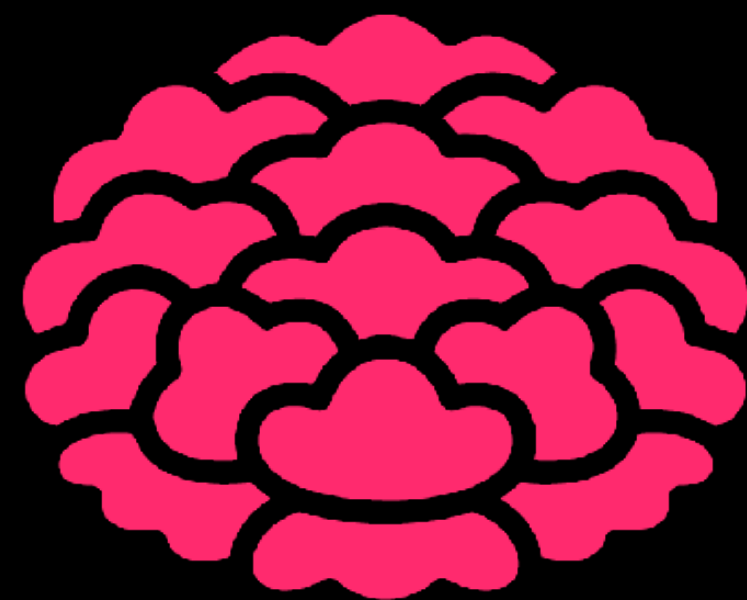
「地域を超えた取り組みとして継続の声、多数」

津軽地域の問題解決と賑わい創出の可能性を感じるという声も多く、参加者からの声・意見を元に、地域の活性化に向けた仕組みづくりを検討していきたいと考えている。

自治体として企業連携に期待するポイントは？

「単独では難しい、具現化力やメディア発信力に期待」

「観光推進に向けた連携に関する」協定締結のもと、日産自動車から、ツアー運営に必要な車両貸与やオペレーションノウハウ、全国区へアピールするPRやメディアプロモートなどのサポートがあったが、今後も、当法人単独ではなし得ない、心強いサポートを期待する。



一般社団法人
Clan PEONY 津軽

事務局次長
前田 秋子

全体総括

更なる展開を踏まえた三者のFINDINGS

各地域に潜在する課題への取り組みが、
今までにない「アクション」や「成果」を生み出せる機会となり得る

体験者

これまで味わったことのない体験、
行ったことのない場所をきっかけに
「新しい観光・レジャースタイル」の獲得
「移動」と「宿泊」を兼ねたクルマの利便性の発見

自治体・DMO

単独では実現しにくい、
課題解決のきっかけづくりや、
日産自動車の持つ「PR発信力、
ブランディング力、運営力」の習得

日産キャラバン

興味関心層・検討層へ
さまざまな使用シーンなどの
「新たな情報発信機会の創出」と
「地域貢献」へのきっかけづくり

2023年度 取り組みを終えて

山積する課題に対しても、 双方の「ノウハウや得意分野」で創意工夫し、 「まずは動いてみるコト」の重要性を再認識

全国各地の課題は千差万別であり、一筋縄では解決できないものと認識しております。

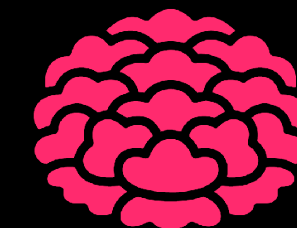
そんな中、2022年度 茨城県高萩市に続き、2023年度 北海道上川町、Clan PEONY 津軽 の皆さまより、日産キャラバンへご興味を持っていただき、モニターツアー・実証実験というカタチでまずは何かヒントになるコト、解決できる道筋がないかを求めていただきました。

今回の取り組みでも「移動」と「宿泊」を担える「日産キャラバン」は「2次交通」や「宿泊施設不足」の課題解決の可能性が確認できました。

引き続き、少しでも課題解決のきっかけになればと考え、さらなる取り組みの拡大を目指して参ります。
ぜひ、今後とも当取り組みにご期待ください。



日産自動車 株式会社
北海道上川町 / Clan PEONY 津軽



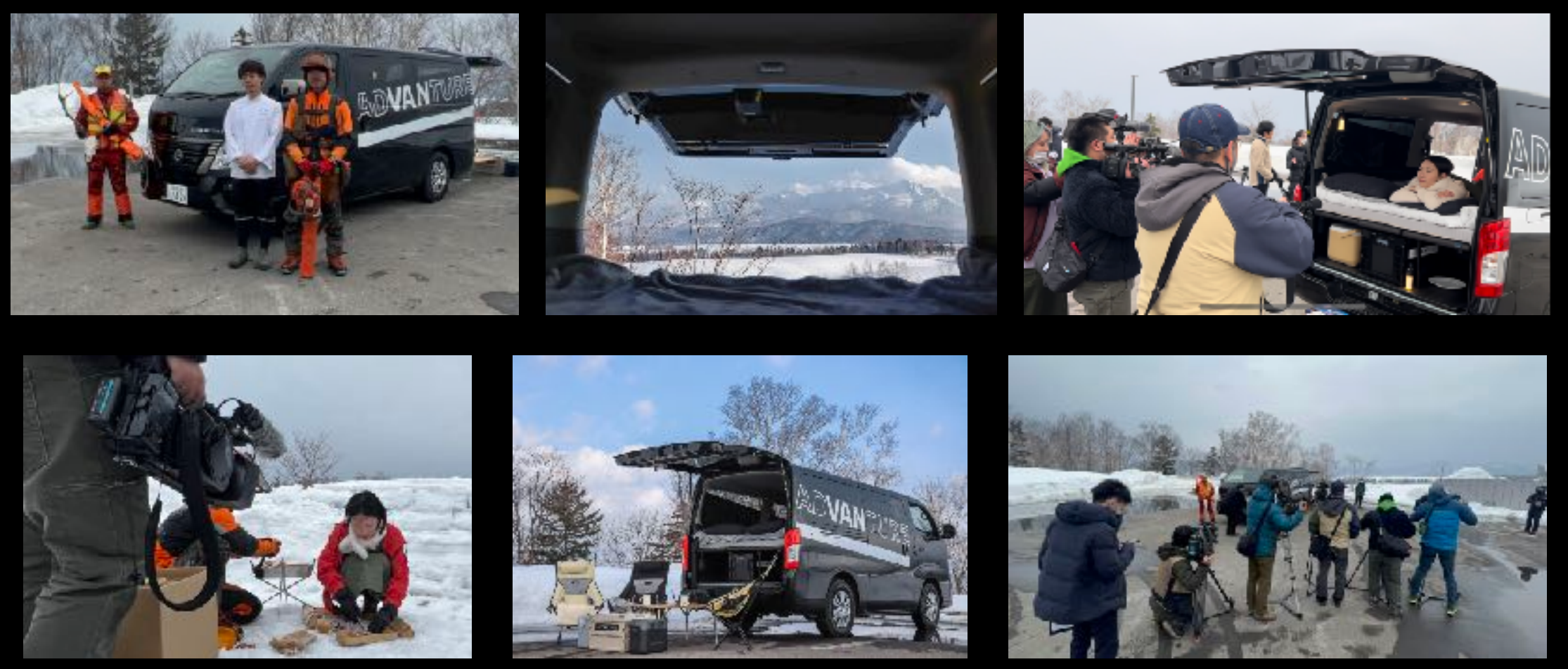
補足レポート

「取り組み発表」や「協定締結式」で工夫されているポイント

メディアの向こう側（視聴者や読者）の興味関心ごとを意識し、切り取りやすい「場づくり・絵づくり」や、わかりやすい「情報提供」を行った

北海道上川町

視聴者や読者が見たくなるようなシーンの撮影タイミングを用意



ツアーで提供される食事（一部）もしていただき「取り組み説明会」に参加いただいた



実際に提供される様子やメニューも紹介

Clan PEONY 津軽

伝えたいメッセージ
「泊まれる2次交通」
を1ビジュアルで用意



実証ツアーで使用する車両/アイテムを用意・説明
体験者モデルも稼働
参加メディアに乗車・体験取材の場も提供



登壇者共通の服装を用意し、取り組みへの本気度を強化



一般社団法人 Clan PEONY 津軽 理事 榎田 聖
日産自動車 株式会社北日本リージョナル モールスタッフ 部長 小原 友子
株式会社 百瀬リゾート 代表取締役社長 今井 尚也
一般社団法人 Clan PEONY 津軽 専務理事/事務局員 木田 淳也
株式会社日産自動車 チーフマーケティングマネージャー 山本 聡

各種資料URL

当取り組みに関するこれまでの「プレスリリース」や「告知応募ページ」

■日産キャラバン

実証実験取り組み紹介まとめサイト（日産自動車ホームページ）：

<https://www2.nissan.co.jp/SP/CARAVAN/CARAVANISTBASE/ADVANTURE/POCAPPLY/>

■北海道上川町

取り組み プレスリリース（PR TIMESサイト）：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000059288.html>

実証ツアー告知募集ページ（日産自動車PDFページ）：

https://www2.nissan.co.jp/SP/CARAVAN/CARAVANISTBASE/ASSETS/IMAGE/ADVANTURE/POCAPPLY/KAMIKAWA/NISSANCARAVAN_KAMIKAWA_VANTOUR_INFO_230309.pdf

■Clan PEONY 津軽（青森県：地域連携DMO）

取り組み プレスリリース（PR TIMESサイト）：

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000065.000065945.html>

実証ツアー告知募集ページ（Clan PEONY 津軽ホームページ）：

<https://www.trip-tsugaru.com/nissan-caravan/>

2023年度に公表したレポート

茨城県高萩市 車中泊体験実証実験レポート (2023年6月24日公表)



下記URLにアクセスください。

https://www2.nissan.co.jp/SP/CARAVAN/CARAVANISTBASE/ASSETS/IMAGE/ADVANTURE/POCAPPLY/REPORT/NISSANCARAVAN_TAKAHAGI_POC_REPORT_220624.pdf

問い合わせ先

問い合わせ先



日本マーケティング本部 チーフマーケティングマネージャーオフィス

メールアドレス：fmx_lcv@mail.nissan.co.jp

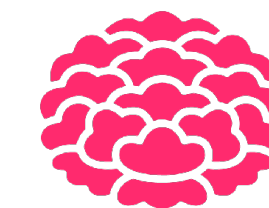


北海道上川町

上川町 東京事務所 プロデューサー

小口 潤

メールアドレス：jun.oguchi@connec-t.jp



Clan PEONY 津軽

一般社団法人 Clan PEONY 津軽 事務局次長

前田 秋子

住所：〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町2番地1 弘前市立観光館2階

電話：0172-88-6090 / FAX：0172-88-6091

以上